

『一心千里』

永田 隆一

走って見れば、
見えてくる



第133回

最近の気象予報は、最新の通信衛星ひまわり8号の活用と、レーダー活
用リモートセンシング技
術と、コンピュータシ
ミュレーション技術を使
って、高い精度の天気予
報になっております。

筆者の小学校の同級生
が気象大学へ進み、気象
庁へ就職して、地方の気
象台の台長を最後に退職
されました。食事を時々
ご一緒します。

「永田、気象庁の職員
の寿命は一般に比べて数
年短い。24時間365日
対応体制が当たり前だか
ら。大型台風が連続して
発生して被害が甚大など

きなど、3日不眠不休な
んてことになる。因果な
職業なんだ。しかし、使
命感だけはみんな強烈に

きな景気後退が加速して
おります。中国政府は20
年前から10兆円近くの補
助金で、中国国内の液晶

情報は人につく 幸せも人につく

強い。そこだけは胸が張
れるな」。

天気予報の情報を持つ
と持たないでは、ビジネ
スでも、プライベートな
部分でも、決断に大きな
差が出ることは必定で
す。情報を持つものはよ
りよい判断ができるので
す。

液晶パネル業界は、大

から液晶製品を有機EL

パネル工場への設備投資
を強力にサポートしまし
た。設備投資資金がいら
ない中国企業との戦いは
厳しいものでした。結局、
10年くらい前から日本企
業、韓国企業は液晶事業
からの撤退に舵を切りま
した。

そして、3年前くらい

パネルとマイクロクリス
タルLEDパネルに置き
換える兆候が台頭してき
ました。

液晶業界の市場は15兆
円。装置はその1割、材
料が7割、利益を稼ぐこ
とが難しい業界です。市
場動向の情報を分析し、
他事業へ比重を移した企
業は元気であります。

しかし、情報を軽んじ
て液晶に執着した、ある
いは執着せざるを得なか
った企業は大きなダメー
ジを被り、多くの企業が
倒産してしまいました。

「亮太さん、市の買い
物補助券、購入しました
か。家族の人数分、1人
3万円まで買えるので
が、4万5000円の買
い物ができるのです。す
ごくお得ですよね」「僕
は買ってないよ。だって
駅周辺の限られた店では
か使えないと説明してあ

ったから。買いたいもの
がないかもしれないと思
ったからね」「えっ、ま
いったなあ、その注意書
き見落しました。膨大
な情報が入ってきます
が、重要度が分からない
ことが良くあります」。

「雄介くん、情報は人
に付くと昔から言ってい
る。ある特定の情報は、
ある特定の専門家に集ま
る。本人も、その種に特
定した高いアンテナを持
っているからね。そいつ
の仲間を作ること。自分
が持っているのも情報、
その情報を持っている人
を知っているのも情報と
いう。さて、質問だ。上
質な情報を持っている人
と仲間になるためには何
が必要でしょうか」「定
期的な飲み会は答えじゃ
ないですよね」。

「重要な順番がある。
まずは自分が情報の発信
者になること。そしてル

ールがある。ギブアンド
ギブに徹すること。継続
すれば情報の質も向上し
てくる」「まだ人に発信
できる情報は持っていない
です」。

「そう思うところから
出発なんだよ。僕が東京
エレクトロニックで営業をや
っていた時、日経マイク
ロデバイス、セミコンダ
クタワールド、半導体産
業新聞を自宅で購入して
いて出張の移動中、良い
記事をノートに書き出し
て。A4 2、3枚に手
書きでまとめて、「コピー
を30部カバンにいれてい
た。当時お客様も忙しく
て雑誌を読む時間がなか
ったと思う。会議が終わ
ると参加者全員にハンド
アウトする。面白い小説
があったら、30冊買って、
それも手渡ししていた。5
年くらい続けたなあ。つ
いでに飲み屋のホステス
にも配った」。

「亮太さんはそんなこ
とをしていたんですか」
「六本木のバーのマスター
が、お酒のいろは、ホ
ステスの口説き方という
A4 1枚を毎回お客様に
手渡す。またこれが素敵。
そのやり方をパクらせて
いただきました」それな
ら僕にもできそうです。
明日から始めてみます」
「ギブアンドギブを始め
たのに、数年経つと返信
が来るようになる」「継
続でギブアンドテイクに
なるのですね」。

「これを、小さな親切、
大きな下心という。六本
木のマスターは、清く正
しく気持ちよく戦略と言
っていた。お客がA4を
色んなお店で見せるよう
になると、興味を持った
腕に自慢のホステスが客
や友達を連れて、このパ
ーに来るようになる」
「最高の戦略です」。
(毎月連載)